

Ⅳ－１ 児童質問紙調査の結果(小学校)

<運動習慣の状況>

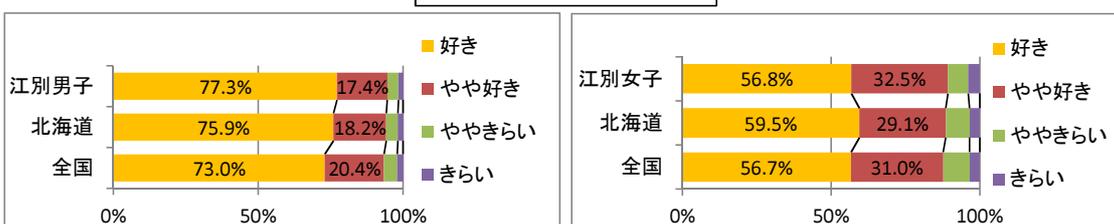
○運動が「好き」・「やや好き」と回答した児童の割合は、男子、女子共に全国平均をやや上回っており、運動することが「大切」・「やや大切」と回答した割合も、男子、女子共に全国平均をやや上回っている。
 ○中学校で「自主的に運動したい」と思っている児童の割合は、男子、女子共に全国平均を上回っている。
 ○児童の一週間の総運動時間を全国平均と比較すると、男子、女子共に上回っている。
 ○家の人からの運動のすすめが「よくある」・「ときどきある」と回答した児童の割合は、昨年度までは男子、女子共に全国平均をやや下回っていたが、今年度は女子が全国平均をやや上回っており、家庭での運動に対する働きかけが改善されつつある。

※ 全国の平均値、質問結果の本市との差を、次の通り表記しています。

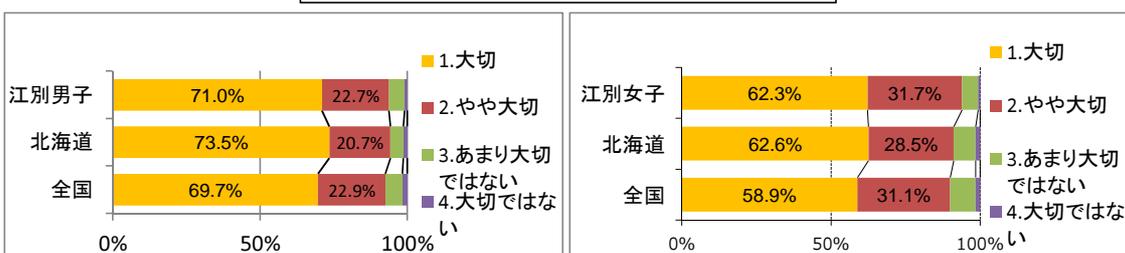
全国の平均値、質問の割合に対し

- ① 5ポイントを超えて高い…上回っている ② 1ポイント超～5ポイント…やや上回っている ③ +1ポイント以内…ほぼ同程度
 ④ -1ポイント超～-5ポイント…やや下回っている ⑤ 5ポイントを超えて低い…下回っている

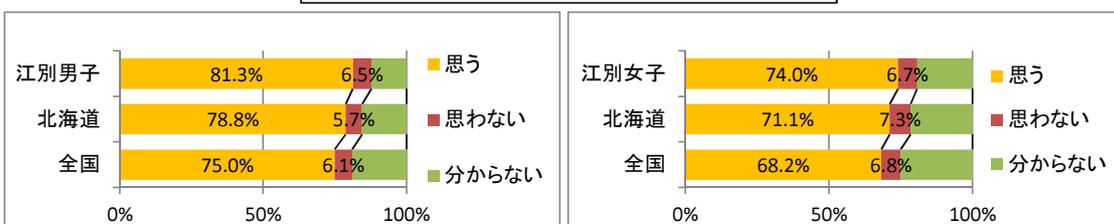
運動が好きですか



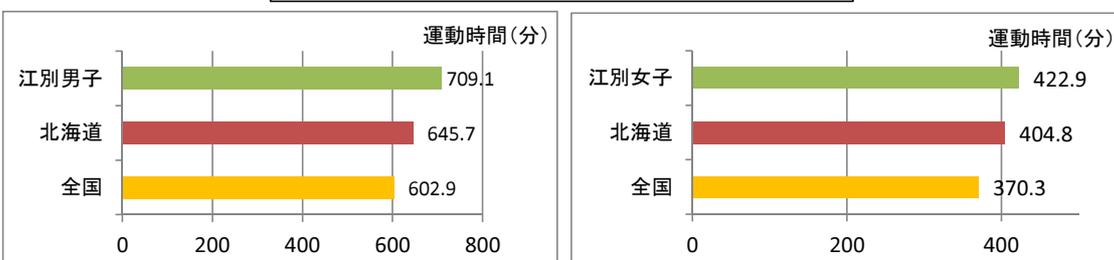
運動することは大切なことですか



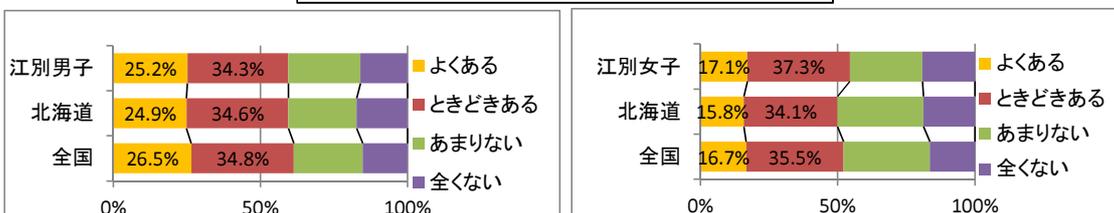
中学校で自主的に運動したいですか



体育の授業以外の1週間の総運動時間



家の人からの運動のすすめはありますか



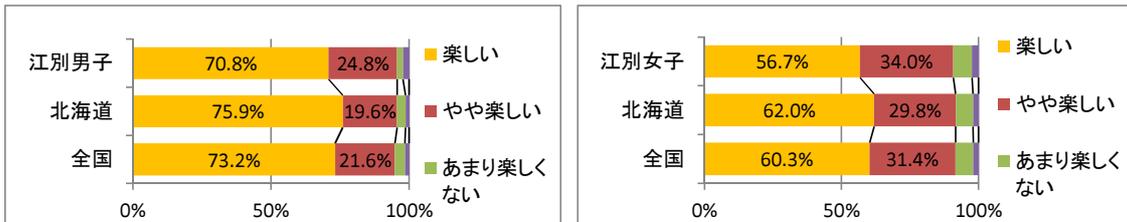
<体育の授業>

○体育の授業が「楽しい」「やや楽しい」と感じている児童の割合は、男子、女子共に全国平均とほぼ同程度であり、9割以上の児童が体育の授業は「楽しい・やや楽しい」と感じている。

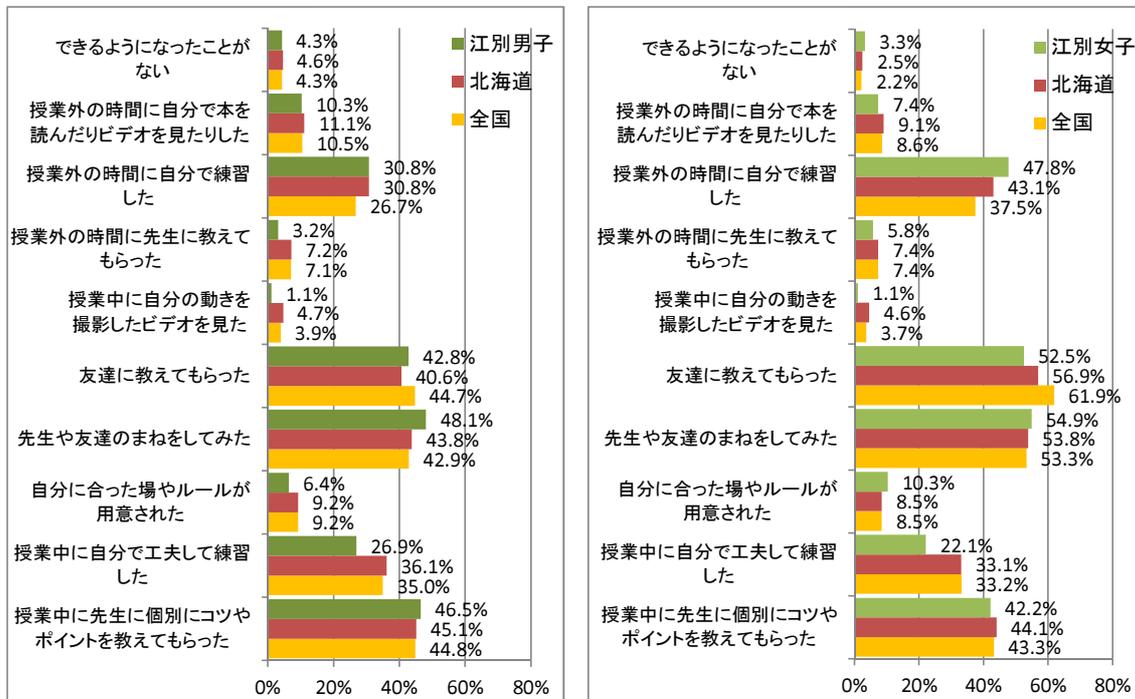
○できないことができるようになったきっかけは、「授業外の練習」「友達に教えてもらった」「先生や友達のまね」「授業中自分で工夫」「個別指導」の割合が多く、全国でも同様の傾向にある。

○「目標の提示」は、男子、女子共に全国平均とほぼ同程度であり、昨年に比べて改善しているが、「授業の振り返り」は、昨年度と同様、男子、女子共に全国平均を下回っている。そのため、今後の、目的やねらいを意識した振り返りを計画的に授業に位置付ける必要がある。

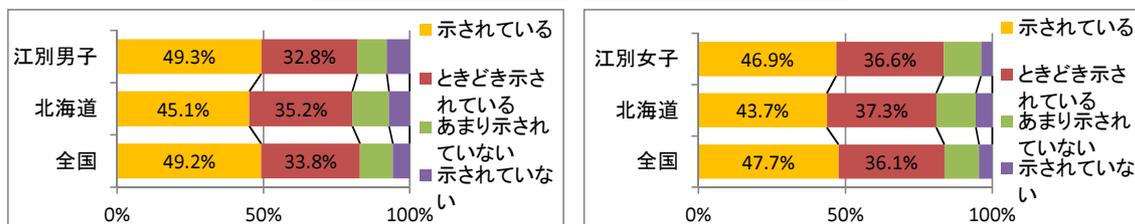
体育の授業は楽しいですか



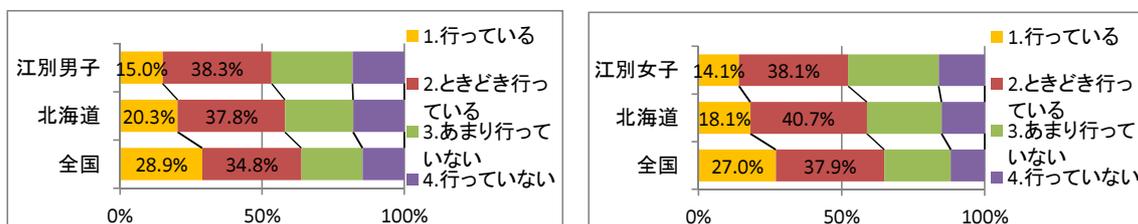
できるようになった主なきっかけは何ですか



授業の目標は示されていますか



授業を振り返る活動はありますか



IV-2 生徒質問紙調査の結果(中学校)

<運動習慣の状況>

- 運動が「好き」・「やや好き」と回答した生徒の割合は、男子、女子共に全国平均をやや下回っている。
- 運動することが「大切」・「やや大切」と回答した割合は、男子が全国平均とほぼ同程度、女子はやや下回っている。
- 「卒業後に自主的に運動をしたい」と回答した生徒の割合は、男子、女子共に全国平均をやや上回っている。
- 生徒の一週間の総運動時間を全国平均と比較すると、男子は上回っているが、女子は下回っている。
- 家の人からの運動のすすめが「よくある」・「ときどきある」と回答した生徒の割合は、男子、女子共に全国平均を下回っており、運動に対する家庭での働きかけが少ないことがわかる。

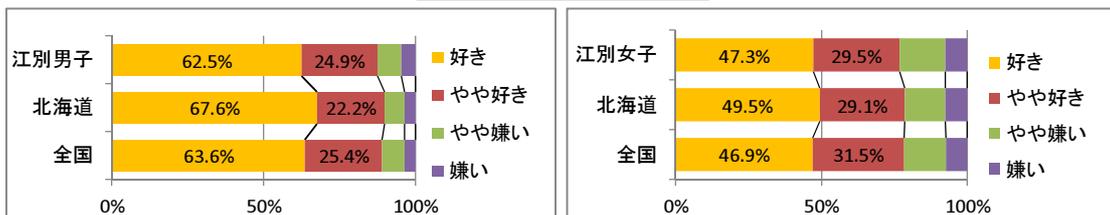
※ 全国の前平均値、質問結果の本市との差を、次の通り表記しています。

全国の前平均値、質問の割合に対し

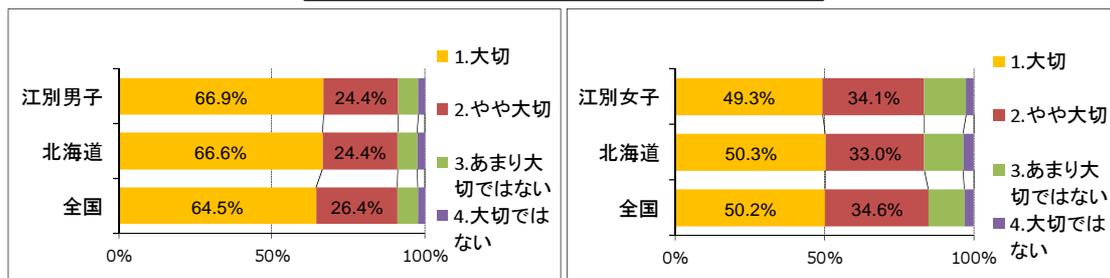
① 5ポイントを超えて高い…上回っている ② 1ポイント超～5ポイント…やや上回っている ③ +1ポイント以内…ほぼ同程度

④ -1ポイント超～5ポイント…やや下回っている ⑤ 5ポイントを超えて低い…下回っている

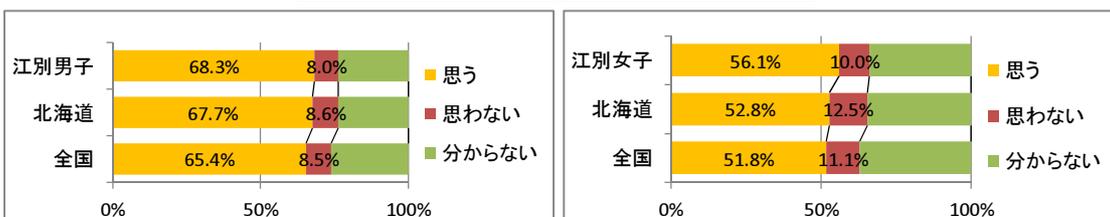
運動が好きですか



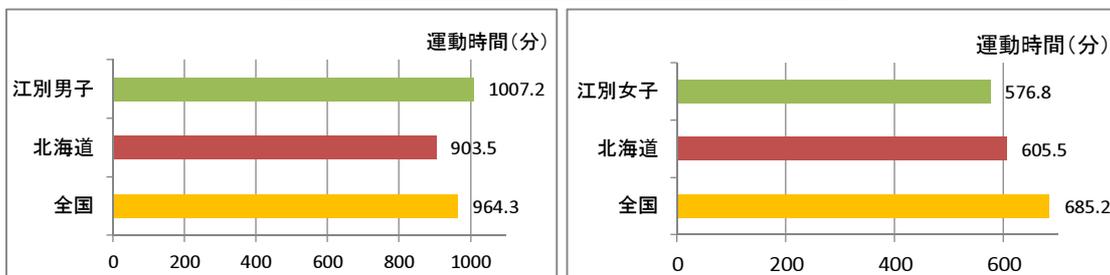
運動することは大切なことですか



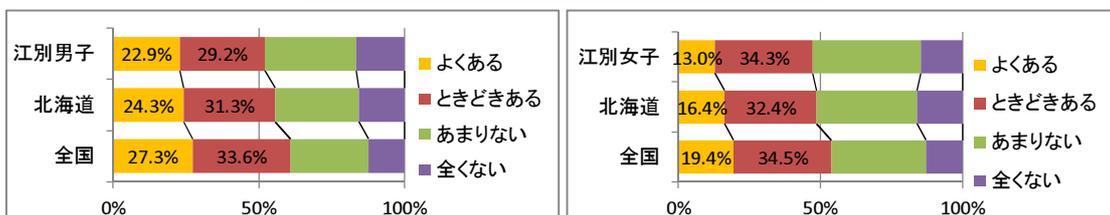
卒業後自主的に運動したいですか



保健体育の授業以外の1週間の総運動時間



家の人からの運動のすすめはありますか



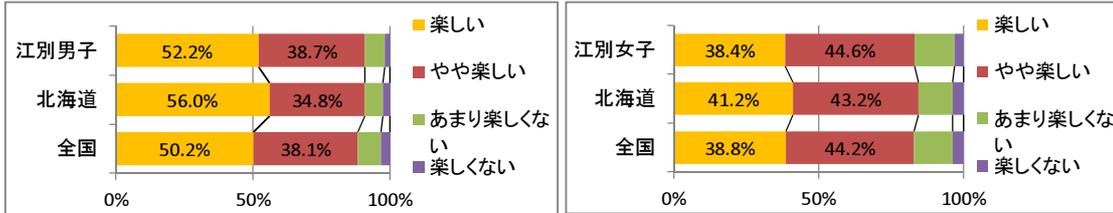
<保健体育の授業>

○授業が「楽しい」「やや楽しい」と感じている生徒の割合を全国平均と比較すると、男子はやや上回っており、女子はほぼ同程度である。男子は9割以上、女子は8割以上が、保健体育の授業は「楽しい・やや楽しい」と感じている。

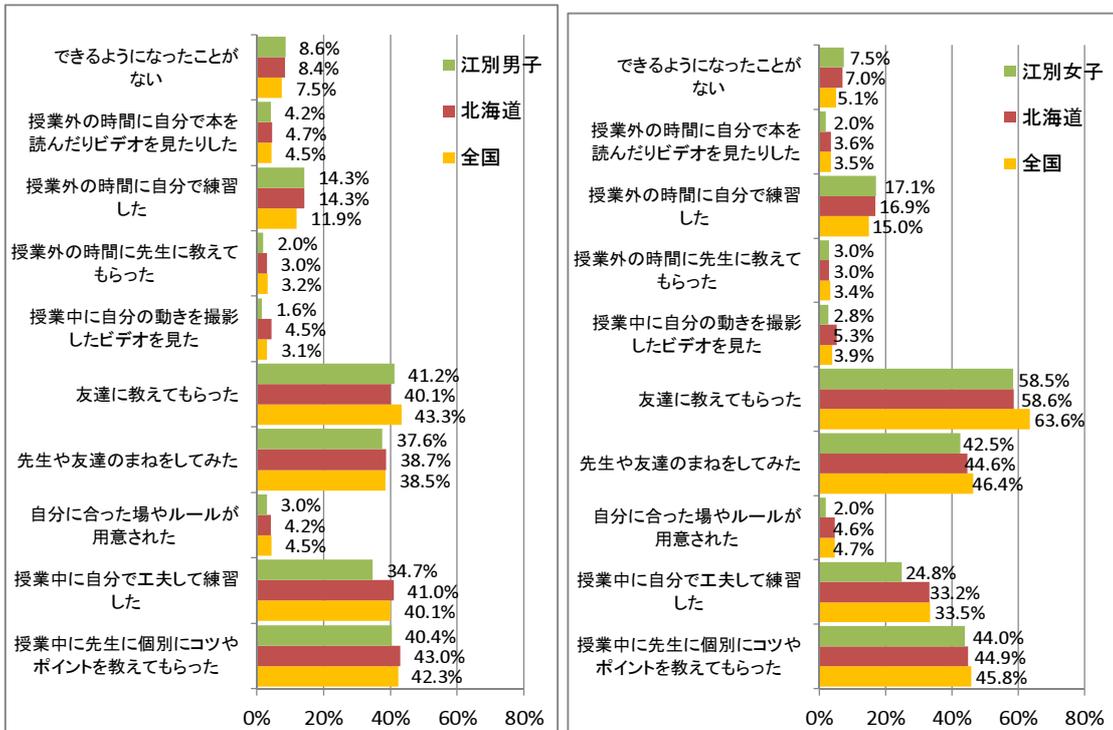
○できないことができるようになったきっかけは、「友達に教えてもらった」「先生や友達のまね」「授業中自分で工夫」「個別指導」の割合が多く、全国でも同様の傾向にある。

○「目標の提示」は男子、女子共に全国平均をやや下回り、「授業の振り返り」は、全国平均を下回っている。本市では、昨年度より改善しているものの、今後も継続して、目的やねらいを明確化した授業を展開していく必要がある。

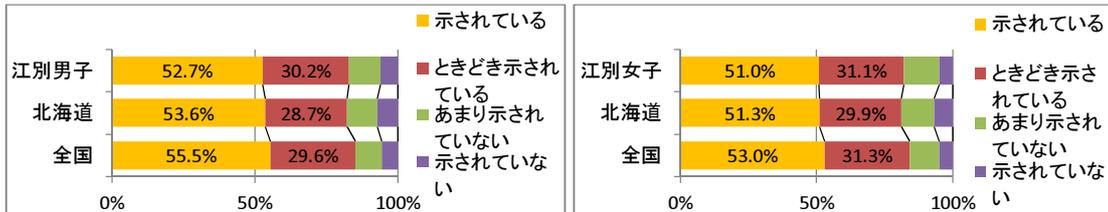
保健体育の授業は楽しいですか



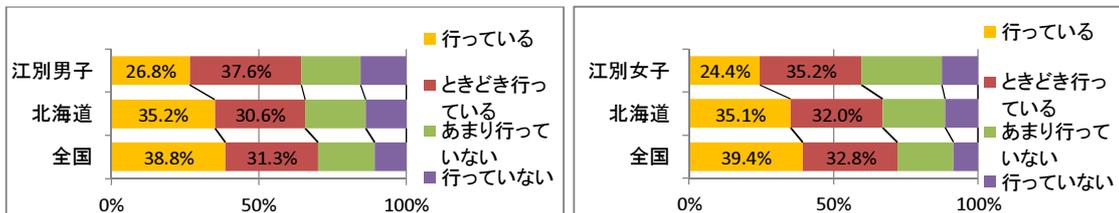
できるようになった主なきっかけは何ですか



授業の目標は示されていますか



授業を振り返る活動はありますか



V 学校質問紙調査の結果

<体力の向上に関して>

○学校全体で体力・運動能力向上の「目標設定」をしている学校の割合は、小中学校共に全国平均を上回っており、授業以外で体力・運動能力向上の「取組を行っている」学校の割合も、小中学校共に全国平均を上回っている。

○授業の目標を「いつも入れている」学校と振り返る活動を「いつも入れている」学校は割合は、小中学校共に全国を上回っている。しかし、児童生徒の回答と比べると、学校の認識と児童の意識に差が生じていることから、今後は、授業のまとめ、振り返りを児童生徒が意識しながら学習できるように、授業を工夫していく必要がある。

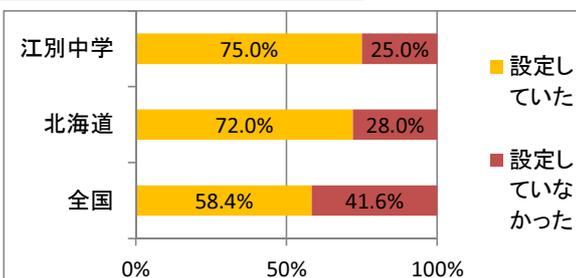
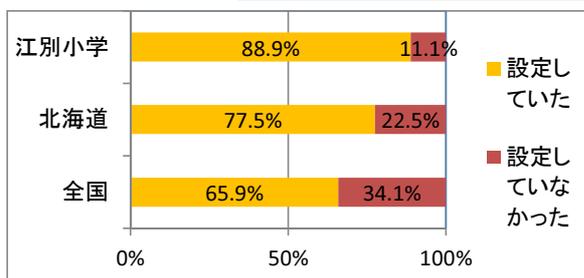
※ 全国の平均値、質問結果の本市との差を、次の通り表記しています。

全国の平均値、質問の割合に対し

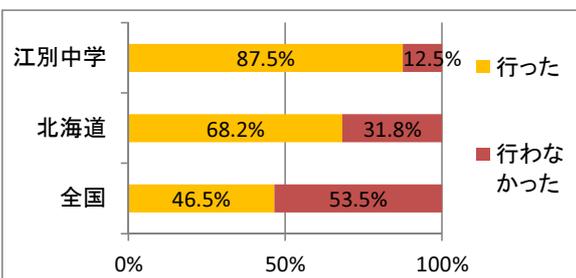
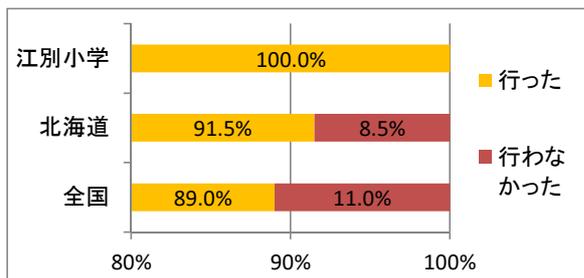
① 5ポイントを超えて高い…上回っている ② 1ポイント超～5ポイント…やや上回っている ③ +1ポイント以内…ほぼ同程度

④ -1ポイント超～5ポイント…やや下回っている ⑤ 5ポイントを超えて低い…下回っている

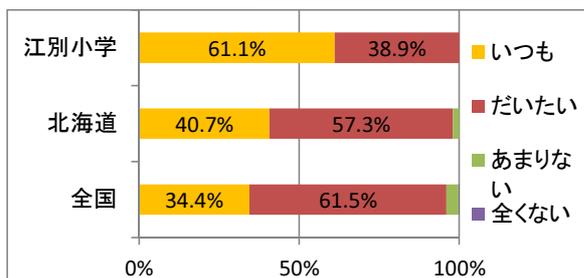
学校全体で体力・運動能力向上の目標設定をしていますか



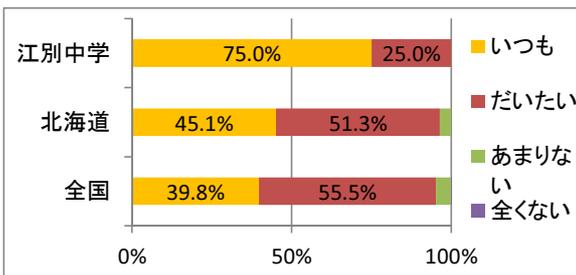
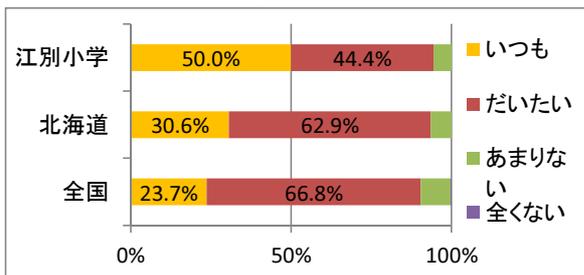
授業以外で体力・運動能力向上の取組を行っていますか



授業の目標を児童に示す活動を取り入れていますか



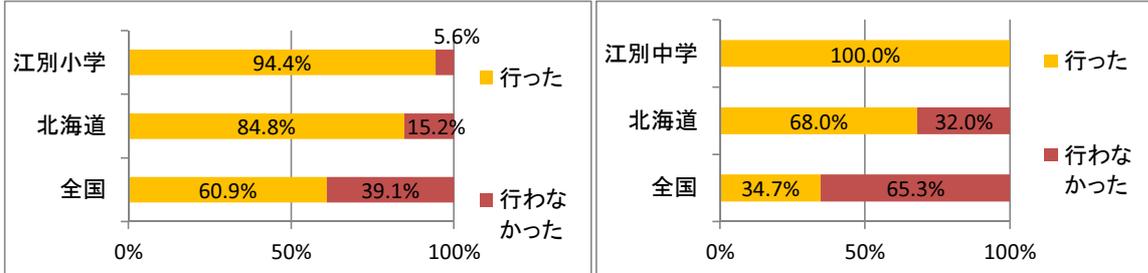
授業を振り返る活動を取り入れていますか



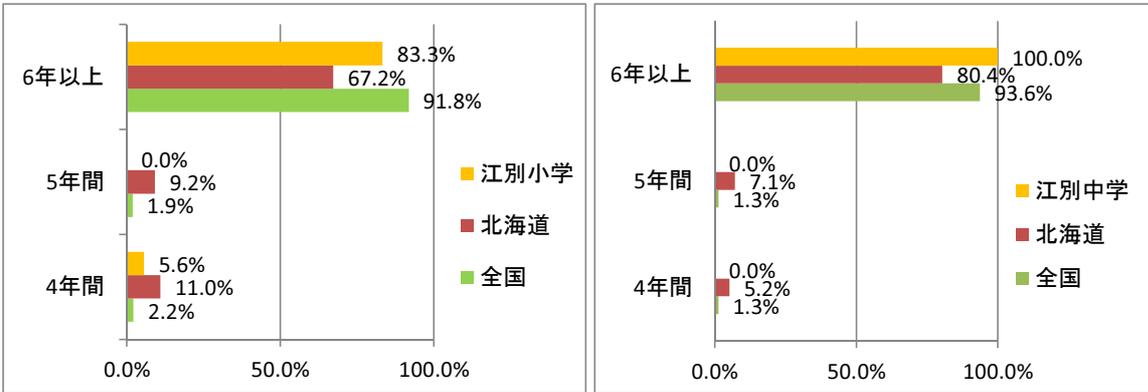
<家庭への啓蒙と新体カテストに関して>

○「家庭への啓蒙」を行っている学校の割合は、小中学校共に全国平均を上回っている。
 ○「新体カテストの実施年数」では、6年間以上の割合を比較すると、小学校では、昨年度と同様、全国平均を下回っているものの、差は徐々に縮まってきている。
 ○「新体カテストの実施学年」では、小中学校共に全国平均を上回っており、小学校3年生以上と中学校全学年で実施割合が100%となっている。

前年度、家庭に運動の意義や実施について、説明や呼びかけを行いましたか



新体カテストは何年間実施していますか



新体カテストの実施学年

